

set vol.7

医療法人 平成博愛会 世田谷記念病院広報誌



開院10周年を迎えて

特集

在宅復帰を目指す、すべての患者さんへ

地域包括ケア病棟のご案内

Anniversary
10th

世田谷記念病院 10周年

今年で10周年を迎えた世田谷記念病院。地域に密着し、
地域のみなさまのために走り続けた10年間に振り返ります。



開院当時の世田谷記念病院

当院は2012年春、現在の地に開設し、今年で10周年を迎えました。開設当初より「地域包括ケア病棟」の先駆けとして、医療療養病棟でありながらもPAC (Post Acute Care: 急性期治療を終えた患者さんの受け入れ)・SAC (Sub Acute Care: 在宅患者さんの緊急受け入れ)に積極的に取り組んでまいりました。

外来リハビリテーションや在宅診療部などの機能を追加し、患者さんの健康をサポートできるようなさまざまな取り組みを行ってきました。さらに、2020年には設備を一新して、より快適な入院生活を送っていただけようになりました。

これからも地域のみなさまのお力になれるよう、尽力してまいります。

2020年に病棟をリニューアルしました!

患者さんに、より安心して過ごしていただけるよう一部病棟を改装・新たな取り組みを開始しました。



ドッグセラピー



日常生活動作訓練



訪問リハビリテーション



©ISHIDA Atsushi

リニューアル後(外観)

staff voice



介護福祉士 福崎 彩子

すべての人に「ありがとうございます!」

開院当初は「多職種協働」と言われてもあまりピンときませんでした。今ではそれが当たり前のチームになりました。10周年を無事に迎えることができたのは、すべての仲間あってのことだと感じています。これからも感謝の気持ちを忘れずに、チームで団結していきたいです!



理学療法士 押田 浩司

ゼロから始まった10年前

私が新卒で入社した頃は、開院直後でまだ何も決まっていなかった環境からのスタートでした。楽しみの半面、不安も感じていたことを覚えています。この10年、院内イベントやテレビ番組の取材協力など、さまざまな経験をさせていただきました。これからも当院の一員として尽力します!

院長より ごあいさつ



世田谷記念病院 院長
清水 英治

開院10周年を迎えて

世田谷記念病院は2012年4月2日に開院し、今年で開設10周年を迎えました。ご協力いただいた地域のみなさま、医療機関のみなさまに心より感謝申し上げます。

当院の役割は、急性期病院での治療を終えた患者さんや自宅や施設で体調不良となった患者さんへ入院治療とリハビリテーションを行い、生活の場に戻っていただくことにあります。また、退院後は訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問栄養指導により、在宅期間をできる限り長くするような力を注いでいます。

医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、介護職員、医療ソーシャルワーカーなどの多職種が、フラットな関係のもと協力し合い、患者さんに最適なサービスを提供してまいります。

世田谷記念病院の 医療サービス



自然光が差し込む、明るい病室



木の温もりが感じられる院内



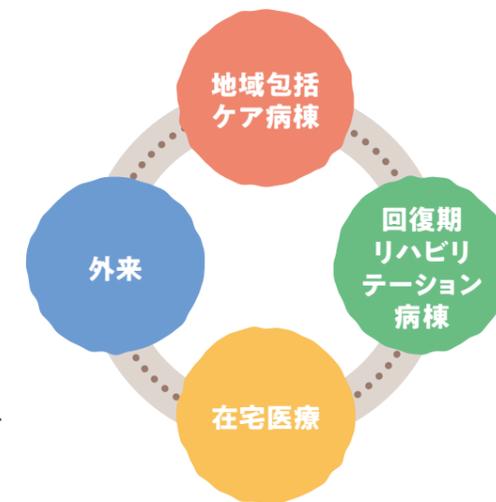
現在の世田谷記念病院

二種類の病棟、外来、在宅医療で 地域のみなさまの健康を支えます

当院は「在宅生活を支える」という目的を果たすため、地域包括ケア病棟(39床)、回復期リハビリテーション病棟(107床)、在宅医療サービス(訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・訪問栄養指導)、外来の四つの機能を備えています。

急性期医療を終えた患者さんや、入院が必要になった在宅患者さんを早期に受け入れて、治療と積極的なリハビリテーションの介入により、住み慣れたご自宅へ戻れるようお手伝いをしています。また、退院後もその人らしく、ご自宅での生活を安心して長く続けられるようサポートしています。

グループの理念である「絶対に見捨てない。」のもと、いつも寄り添い、よりいっそう頼られる病院になるために、病棟と職種の垣根を超え、一丸となって患者さんの治療に取り組んでいます。



ケア



独自の離床プログラムで廃用症候群を予防

かつては「病気には安静が一番」と言われていました。しかし近年は、不必要な安静による廃用症候群^{※1}が問題視されており、病気の治療中であっても適度な(もしくは可及的な)離床^{※2}が勧められています。当院でもできるだけ長時間離床してもらえるよう、身体を動か

す機会を作って、身の回りのことはなるべく患者さんご自身で行うようにするなど、さまざまな離床プログラムを用意して、予防に努めています。

※1 過度な安静、活動性の低下により身体に生じるさまざまな問題(筋萎縮、心機能低下、誤嚥性肺炎、排尿障害、血栓塞栓症、うつ状態、褥瘡など)。
※2 ベッドから離れて過ごすこと。

地域密着型の多機能病院を目指して

当院の取り組み

当院は地域に溶け込み、地域から頼られる病院を目指して、さまざまな取り組みを行っています。ここではその一部をご紹介します。

診療指針

すべての患者さんに適切な医療を

当院では「リハビリテーションが必要ない患者さんは存在しない」という考えに基づき、すべての病棟で積極的にリハビリテーションを行っています。リハビリテーション専門医の役割は、さまざまな疾患を持つ患者さんに最適なリハビリテーションを提供できるよう、

リハビリスタッフと協力して診療に当たります。当院には、全身管理を得意とする内科系の医師も多数在籍しています。医師それぞれが専門領域を生かしながら協力し合って、適切な医療が提供できるように努力しています。



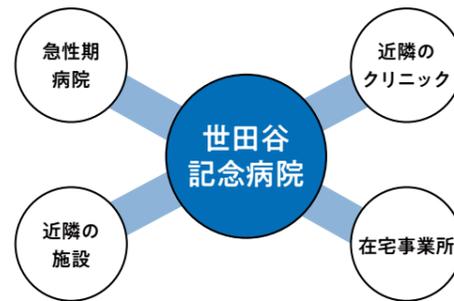
地域連携の推進

急性期病院・在宅事業所との連携で地域をつなぐ

私たちは「地域に必要とされる医療」の提供を実践しています。PAC^{※3}・SAC^{※4}の二つの機能を併せ持ち、近隣の急性期病院やクリニック、在宅事業所と連携することで、地域医療のハブ(中核)として機能する「地域密着型多機能

病院」を目指しています。コロナ禍においては積極的にオンライン連携会を開催して、当院の取り組みを発信しつつ、地域のみならずからご意見を伺っています。

※3 Post Acute Care: 急性期治療を終えた患者さんの受け入れ。
※4 Sub Acute Care: 在宅患者さんの緊急受け入れ。



チームアプローチ



心理的安全性を高めてチームワークを強化する

回復期・慢性期の患者さんの多くは、複数の疾患やお悩みを抱えています。それらを解決するには、医師の力だけではなく、患者さんに関わる医療スタッフ全員の力が必要です。当院は序列にとられない強いチームを目指して、さまざまな取り組みを行っており、すべ

でのスタッフの心理的安全性^{※5}を高めて、各々が意見やアイデアを出しやすく、風通しの良い職場作りを心がけています。

※5 恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる状態。

離島支援事業



[写真提供] 利島村

離島へのリハビリスタッフ短期派遣をスタート

2022年より、東京都・伊豆諸島にある利島村へのリハビリスタッフ派遣事業を開始しました。理学療法士を配置して、島民のみならずの心身機能の維持・向上をはかり、健康維持をサポートしています。

「東京都利島村 離島のリハビリ奮闘記」(https://note.com/hmw_toshima)

食事の摂取量低下を見逃さず原因を探る



回復期の患者さんにとって、栄養をしっかりと摂取することはとても大切です。食欲や食事摂取量の減少には、嚥む力・消化吸収能力の低下やストレスなど、さまざまな原因があります。当院では、問診内容や身体所見から疑わしい原因の見当を付け、検査すること

で「食べられない」のはなぜかを探り、問題解決に当たります。さらに、オリジナルの電子カルテ「Aloe」を導入して、患者さんごとに分析し、細やかな栄養管理を行っています。

栄養管理

リハビリテーション

充実したリハビリテーションで在宅復帰を応援

当院には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を中心に、総勢100名を超えるリハビリスタッフが在籍しています。患者さんが1日でも早く在宅復帰できるよう、運動機能や認知機能、嚥下機能などの状態を総合的に評価し、最適な計画を立案したうえ、疾患や障

害に応じたリハビリテーションと、ADL(日常生活動作)向上のためのリハビリテーションを提供しています。退院後も訪問リハビリテーションなどで、在宅生活を支えています。



地域包括ケア病棟の特長

在宅復帰を目指す、すべての患者さんへ

地域包括ケア病棟のご案内



当院には「回復期リハビリテーション病棟」「地域包括ケア病棟」の二つの病棟があります。今回は「地域包括ケア病棟」について紹介します。

01

急性期後の治療を引き継ぎます

[Post Acute Care]



急性期後のさまざまな状態の患者さんに対応できるよう、きめ細やかな医療を提供できる体制を整えています。できるだけ早期に受け入れ、早く自宅や施設に戻っていただけるように治療を行っています。

02

ご自宅や施設での療養中に状態が悪化した際は、

即時受け入れます [Sub Acute Care]



在宅療養や施設入所中の患者さんの状態が悪化した場合、主治医や施設スタッフから連絡を受けて、迅速に受け入れます。即日入院にも対応します。入院直後から積極的な治療を行い、早期の退院を目指しています。

03

積極的なリハビリテーションで、在宅復帰をサポートします



在宅復帰のために欠かせないのがリハビリテーションです。当院の地域包括ケア病棟では、独自の取り組みにより、すべての入院患者さんに対して積極的なリハビリテーションを行っています。

04

あらゆる状態の患者さんを受け入れます



地域包括ケア病棟には、回復期リハビリテーション病棟や医療療養病棟のように、対象疾患や医療区分による入院の制限がありません。可能な限り、あらゆる状態の患者さんを受け入れるよう努力しています。

地域包括ケア病棟とは

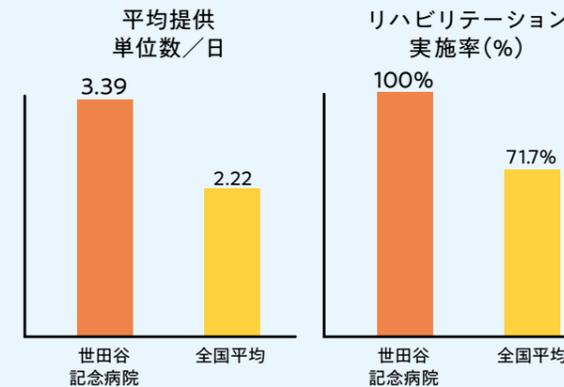
地域包括ケア病棟は、疾患に関わらず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れている入院病棟です。

ご自宅や施設で急に具合が悪くなった方や、急性期病院にて症状が安定したものの在宅復帰が難しい方、レスパイトケア^{*1}が必要な方も受け入れています。安心して在宅復帰ができるように、疾患の治療とリハビリテーションを提供しており、退院後の生活に合わせて、施設の紹介や訪問看護などの介護サービスの提案も行っています。

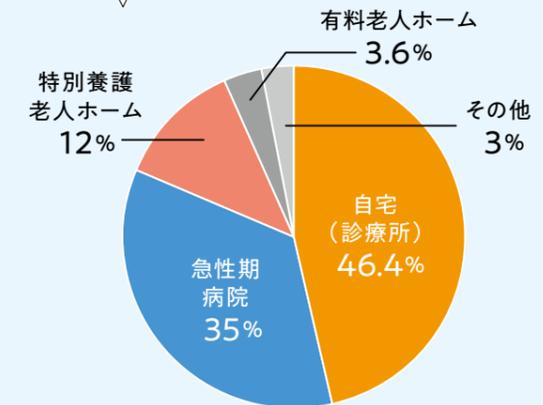
*1 ご家族の休息を目的とした入院。

主な目的	急性期治療後または在宅療養中に悪化した患者さんの在宅復帰
対象となる主な疾患	呼吸器疾患(誤嚥性肺炎、肺、COPD) 脳血管疾患(脳梗塞後、脳出血後) 心疾患(心不全、胸水) 運動器疾患(骨折、腰椎圧迫骨折、腰痛) 神経難病(ALS、パーキンソン病)
入院日数上限	最長60日
病棟で行うこと	疾患の治療とリハビリテーション

世田谷記念病院地域包括ケア病棟のリハビリテーションの実績



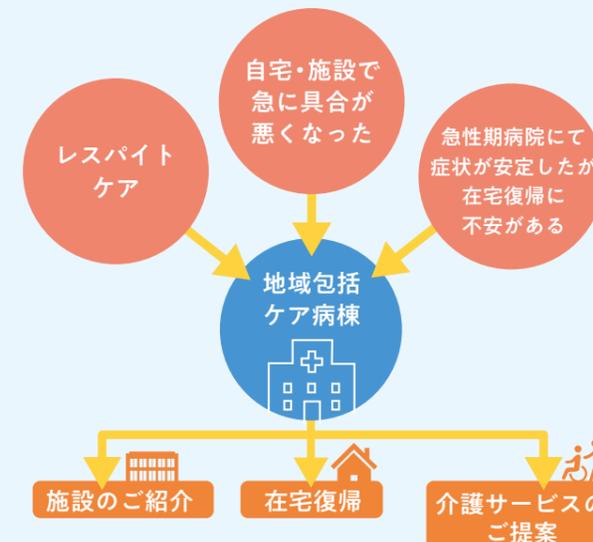
入院割合



60日以内で在宅復帰を目指す

地域包括ケア病棟の入院期間は規定により、最長60日と定められています。当院ではこの期間内で最良の治療とリハビリテーションを行えるよう、医師や看護師、介護士、リハビリスタッフ、管理栄養士、社会福祉士がチームを組み、一丸となって患者さんの在宅復帰を支援しています。

スムーズな在宅復帰のため、「一人で食べる」「自分でトイレに行けること」を目指して、患者さんご家族をバックアップしています。



退院後は、在宅医療サービスをご利用ください

訪問栄養指導や訪問リハビリテーションも積極的に実施しており、同じグループの「訪問ステーションてとと大岡山」とも連携して、介護サービスも提供しています。



世田谷記念病院 地域連携室のご案内

私たちがお答えします!



入退院のお困りごとはありませんか？

私たち地域連携室では、地域のみなさま（近隣の医療機関のみなさまや、患者さんに関わっているすべての方々）からの入院に関するご相談を受け付けています。

入院に際しては、さまざまな心配やお困りごとがあるかと思います。「こんなことを聞いてもいいのかな?」「こんなことが不安だな」といった場合は、遠慮なくご相談ください。

病院について気になることを何でも解決します！
わからないことがあれば、いつでもお気軽にお声がけください。

📞 03-3703-5100

受付時間 9:00～17:00
(月～土曜日)



ご相談内容

- 入退院のご相談
- 介護保険などのご相談
- 各種医療機関、診療所、福祉施設からの
ご相談 および診療紹介、検査紹介、
逆紹介の支援
- 療養上のさまざまなご相談
- 当院へのご意見、ご要望など

ご来院のみなさまへ

当院では新型コロナウイルス（COVID-19）対策としてご来院されるすべての方に右記の対応をお願いしています。入院患者さんおよび、ご来院のみなさまを感染から守るためにご協力をお願いいたします。
世田谷記念病院 院長

体温測定

院内にお入りになる前に、すべての方に体温測定の実施をお願いしています。係の者が不在の場合は、お手数ですが受付までお声がけください。発熱を認めた場合は係の者の指示に従ってください。

マスクの着用

来院時にはご自分でご用意ください。お持ちでない場合は受付にお申し出ください。

手指消毒

院内にお入りになる前に必ずアルコール消毒剤で手指消毒をしてください。

院内での飲食禁止

飲食時にマスクを外すことにより感染リスクが高まるため、院内での飲食禁止にご協力ください。（入院患者さんは対象外です）

当院へのアクセス

○東急田園都市線 大井町線ご利用の場合

二子玉川駅から東急バス「玉11」多摩川駅行き
野毛桜堤停留所下車 徒歩約1分

○東急東横線 目黒線ご利用の場合

多摩川駅から東急バス「玉11」二子玉川駅行き
野毛桜堤停留所下車 徒歩約1分

○無料送迎バスあります

二子玉川駅より、ご家族向けの送迎バスを運行しております。くわしくはホームページをご覧ください。

時刻表	8時	9時					
駅発	45 (日祝運休)	10 40					
病院発	-	00 30 50					
	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
駅発	00 40	10 40	40	30	30	30	10
病院発	10 30	00 30 50	30 50	20 50	20 50	20	00 20



医療法人 平成博愛会
世田谷記念病院
SETAGAYA MEMORIAL HOSPITAL

〒158-0092 東京都世田谷区野毛2丁目30番10号
Tel.03-3703-5100 Fax.03-3703-7730
www.setagayahp.jp info@setagayahp.jp

- 診療科目 内科・整形外科
リハビリテーション科・脳神経外科
- 診療時間 月～土曜 午前 9:00～12:00
※曜日によって変動があります
- 休診日 月～土曜午後・日曜祝日・年末年始